

## 特集

# アフターコロナは『アイデア』で乗り切れ



Photo: グランド警備保障有限公司 (前列 左から4人目が金森慎一郎 社長)

### 企業リレー

【毎月表紙を飾っていたくのは各企業の社員さんです。】

#### グランド警備保障有限公司

当社は、平成7年5月に築館町（現栗原市築館）宮野で地域の安全安心を守る警備会社として創業し、現在は栗原市築館藤木で営業を行っております。

創業当時は、警備業が現在ほど認知されておらず、新規顧客の開拓や従業員の確保等で苦労した話を当時の社長からよく聞かされた事があります。その後、平成の大合併により、栗原市が誕生すると、公共事業の増加等により警備員の需要が高まり、地域の皆様から声を掛けていただく機会が増えていきました。

平成22年3月に登米市、同26年7月に気仙沼市に営業所を置き、それぞれの地域の安全安心に貢献すべく警備業務を行っております。

当社は建設現場等での事故、渋滞を未然に防ぐ交通誘導警備を主に行っております。

地域の皆様が安全に通行出来る環境を守り、建設関係者の方々が作業に集中出来る様、しっかりと警備致します。

警備員の行う交通誘導には地域の皆様のご理解とご協力が何よりも大切です。創業当時から大切にしている「信頼と思いやり」を胸に、社員一同信頼される警備員を目指し、今後も努力してまいります。

また、市内の公共施設、学校等での常駐警備業務、管理業務、清掃業務も行ってまいります。施設を訪れた皆様が快適に利用出来るよう、丁寧な対応に努めてまいります。

当社は、地域に根ざした警備会社、地域の防犯に寄与する警備会社を目指し、積極的に取り組んでおります。登下校時の児童が悪質な犯罪に巻き込まれない様、防犯教室を行い、護身術、防犯グッズの効果的な使用方法等を児童、学校職員に体験していただきました。夏祭り会場での防犯グッズの使用体験、販売を行った事もあります。現在は、イベントの開催自体が難しい状況ですが、また機会があれば行いたいと思っております。

当社から始まったグランド警備グループは今では大崎、仙台、岩手県にまで拡がり、警備業務に従事しております。これもひとえに地域の皆様のご愛顧とご支援によるものと深く感謝しております。

これからも社員一人一人が「思いやり」の気持ちを忘れず、精進してまいりますので、今後ともよろしくお願致します。

●企業リレー ●活動レポート 令和3年5月～7月

めざします。「みんなの法人会」

# 特集

# アフターコロナは『アイデア』で乗り切れ

未来事業株式会社 経営コンサルタント 清田 正和



## 1 はじめに

今回は、経営を持続させるための社長講座を開講します。論理的に正しい経営をすれば、会社は必ず成長していくと、松下幸之助氏は説いています。

日本では、高度成長期という大きな後押しがあったため、松下電器産業など大企業が世界に羽ばたいたとお思いの方も多いはず。

しかし、日本は歴史的に明治維新から富国強兵政策のもと、産業育成や財閥形成など国力を蓄えるため、様々な努力を傾注してきました。

大河ドラマの渋沢栄一の企業家精神は、ドラッカーも脱帽のほです。

私は日本がその精神を今発揮すべき重要な時期に来ていると考えています。

## 2 企業家精神

企業家精神の発揮は、いつの時代でも人の心に希望を与えます。

ドラッカーは、企業家精神の本質について、「新しい事業と新しい機会を経営管理を適用して収益を大幅に上げるためにリス

クを取る」と定義しています。

つまり、企業家がイノベーションを起こすことを当然のこととみています。

その意味では、渋沢の興した企業コンツェルンは合理的であったと言える。

まさに、経営は論理的かつ構想的な能力を要することを示しています。

日本が富国強兵のもと諸外国に追いつくために為した産業政策は火急的な速さであったし、高度成長時のエコノミックアニマルとして、日本人の勤勉さと組織力の為せる業ですが、それは農耕民族特有の地道さと創意工夫が基盤にあることに起因しています。

現在、低成長にあえぐ日本の経済は、単なる収益の極大化ではなく、収益の質の向上に向かうべきです。

GDP 総体の金額ではなく、国民一人当たりのGDP、つまり国民が稼ぐ力を向上させなければなりません。

そうだとすると、経営者、企業家は自ずと経営資源からいかに収益を稼ぎ出すかを最適な手法(経営管理)によって、成し遂

げなければならぬことになり

## 3 教育の大切さ

収益の質を向上させるためには、まず経営者が自ら学ばなければなりません。

今、多くのビジネスマンがリカレント教育に勤しんでいます。

大学卒業後10年経つと、仕事の効率性に限界が訪れます。能力と知識をブラッシュアップしていかないと、打開力が生まれな

いのです。

経営者も同じです。創業後10年、20年、30年と10年ごとに危機に遭遇します。

企業の寿命が23年というデータがあります。倒産企業の生存年数の平均が23年だからです。

企業も変化しないと生き残れないのです。

ドラッカーは、企業家とは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として利用するものである」と説きます。

変化に対応するには、自ら学び実践し、イノベーションの機会を知る方法を見つけ出す必要があります。

そのためには、自ら考え抜き、自ら考動し、社員の鏡となるべく努力しなければなりません。

## 4 商売の心得

経営者は、商人道を正しく進める資質を持たなければならぬと思います。

たとえ十分な資質がなくとも、鍛えることはできます。

このことについて、石田梅岩

の石門心学では、三つの教えを説いています。

一つ目は「念を入れた商品」。これは、性能・品質の優れた商品のことです。

二つ目は「粗相のないもてなし」。これは、心のこもったサービスのことです。

三つ目は「俵約」。これは、コストを下げて買い求めやすい価格にすることです。

梅岩は、この教えを当時の商人たちに言うて聞かせ、大いに勇気づけたと言われています。

要するに、売り手と買い手が幸せになる「共存共栄」の思想です。

梅岩の商人道、もつと言え、日本の商人道はこれが基盤となっているのです。

経営者は、このことを社員にしっかりと教育することが大切

です。

日本のおもてなしの精神やきめ細かいサービスの原点は、ここに

にあります。

世界で日本のサービスの生産性が低いのは、こうした余分なサービスが原因だ、日本の中小企業は数が多すぎるから過当競争になり、低収益体質になっ

ていると、英国出身の某経営者が力説していました。それがこそ日本の商人道を理解してない戯言です。

日本の商人たちは、梅岩の商人道を学んで今があるのです。ですから、グローバル化した現代でもそれを貫く覚悟と強い信念があれば、ぶれることなく日本の交渉を進めればよいので

す。

教育とは、自ら教え学ぶことです。次世代の人々を育むことです。

いつか世代交代しないと会社は永続しません。ただし、不変なものとは変化させるものをして

り峻別して対応していくことが肝要です。

そのことを社内徹底しておくことが、社員教育の第一です。

## 5 アイデア発揮の仕方

タイミンを計って、考え抜いた結論を経営に反映することはかなり難しいことと言えます。なぜなら、タイミンとアイデアはマッチングしにくい性質があるからです。

いいアイデアがあっても、目の見ないでお蔵入りするケースがよくあります。

タイミンはある程度予測していても、アイデアがまとまらない場合もあります。

では、どうするのか。

それは、アイデアを常に出し続けることです。

いつも、なにか改善できないか、面白いことはないか、役立つことはできないか、人を手助けすることはないかなど考え続けるのです。

ジェームス・W・ヤングは、著書「アイデアの作り方」の中で、「新しいアイデアとは既存の要素の新しい組み合わせ以外の

何物でもない」と述べています。そして、「どんな技術を習得する場合にも原理と方法こそがすべてである」と続けます。

すなわち、普段から資料や情報を蓄積し、心の中で資料をつなげていく、それを組み合わせて仕事に活かす努力を続け、アイデアの誕生を待つ、最後にアイデアを具現化、仕事に展開させる段階に持っていけます。

良いアイデアは、それを見る人々を刺激するので、見た人々はそのアイデアに手を貸してくれることが多くなります。社内的一般社員が出したアイデアがヒントになって、製品が大ブレイクしたという話をよく聞くのはこのことです。

## 6 デジタル革命後の指針

私は、アイデアが産業革命を興したと思っています。

二度の産業革命後、情報革命が興り、現在はデジタル革命です。デジタル革命以前と以後では、資本主義が大きく変容しています。

製造業はモノづくりに専念すれば良かった時代から、サービスを付加しないとモノが売れない時代になりました。

また、デジタル化により、消費者は価格ドットコムなどネットを駆使して、最安値の商品やサービスを受け取れるようになりました。

映画や音楽、スポーツ、ゲームなどのデジタルコンテンツのコストも大幅に低下しました。このデジタルプラットフォームを通じて、消費者の満足度や需要情報に付加価値を付けてサービスを展開したのが、GAFAB

MやFANGと呼ばれるIT企業です。

生産経済が中心であった時代からデジタル経済が主役に躍り出たのです。

例えば、トヨタがソフトウェアと組んで自動運転やモビリティ・アズ・ア・サービスを推進する動きなどは「移動」を軸に商売を考えています。

このように、利便性や効用を目的としたビジネスに変化しているわけで、企業はそのための情報を入手してインプットし、データ化してAIに必要な経営情報を予測させる動きをしていくことが求められます。

リアルタイムにサービスを提供していかないと、逸失利益が多くなってしまいます。

以上のように、デジタル革命は有効なデータを持っていれば、コストをかけずに生産性向上を為し得るという経営に根本から変化させました。

さらに、経営者は既存路線の延長上で経営をしていくことは通用しないと悟り始めました。そこには、経営のスピードが求められるからです。

では、どうすればよいのか？

それは、アイデアを全社員で出すしかないのです。

今後は、全く違った発想で新事業を考えることが事業継続の第一歩となるでしょう。

今回コロナ禍がそれを教えてくれたように思います。

戦う相手は、不確実な環境と、社内内の保守的な発想かもしれません。

税の知識  
vol. 32  
令和3年8月  
国税庁

# 特集 インボイス制度

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が導入されます。適格請求書（インボイス）を発行できるのは、「適格請求書発行事業者」に限られ、この「適格請求書発行事業者」になるためには、登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。



※登録申請書の提出が可能となるのは、令和3年10月1日（金）以降です!!

全国どこからでも参加可能な  
オンライン説明会にご参加ください!



## インボイス制度に関するお問合せ先

インボイス制度に関する一般的なご質問やご相談については、[消費税軽減税率・インボイス制度電話相談センター](#)で受け付けております。

【フリーダイヤル】

0120-205-553 (無料)

【受付時間】

9:00~17:00 (土日祝除く)

税務署にて個別相談（具体的に書類や事実関係を確認する必要があるなど電話での回答が困難な相談）も受け付けております。



制度の概要



Q & A



取扱通達



申請手続

国税庁ホームページ・インボイス制度の画面です。確認したい項目をクリックしてご利用ください!

特集インボイス 検索

スマートフォン  
携帯電話  
からは



# 栗原法人会の活動レポート

令和3年5月後半から7月

5/27  
Thu

## 税務研修会（令和3年度定時総会）

場 所：栗原市若柳「栗原市若柳総合文化センター（ドリーム・パル）」

テーマ：「インボイス制度の手続きについて」

講 師：築館税務署法人課税部門統括国税調査官 久光 郁郎 氏

参加者数：42名  
（内一般3名）

令和3年度定時総会は上程議案全て原案通り承認可決されました。その後、久光統括国税調査官による税務研修会が行われました。



6/18  
Fri

## 経理実務セミナー

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」

演 題：「インボイス制度における経理処理対策セミナー」

講 師：公認会計士・不動産鑑定士・中小企業診断士・土屋晴行税理士事務所 代表 土屋 晴行 氏

参加者数：14名

消費税の仕組みから始まり、インボイス制度の概要・実務上対応のポイントについてわかりやすく解説していただきました。参加者には2021年10月からインボイス登録申請書受付開始を見据え、登録申請用紙等も配布されました。



## 市内小学生の租税教室 テーマは『私たちのくらしと税金』

5/26  
Wed



場 所：栗原市鶯沢「鶯沢小学校」  
講 師：青年部会会計幹事 加藤慎也 氏 他5名  
参加児童数：鶯沢小学校6年生 18名

6/9  
Wed



場 所：栗原市築館「宮野小学校」  
講 師：青年部会幹事 鹿野健一 氏 他3名  
参加児童数：宮野小学校6年生 15名

6/10  
Thu



場 所：栗原市金成「金成小学校」  
講 師：青年部会幹事 三宮 参氏 青年部会幹事 江崎 恵氏 他4名  
参加児童数：金成小学校6年生 49名

6/14  
Mon



場 所：栗原市築館「築館小学校」  
講 師：青年部会副会長 阿部成重 氏 他4名  
参加児童数：築館小学校6年生 86名

6/16  
Wed



場 所：栗原市花山「花山小学校」  
講 師：青年部会幹事 伊藤真大 氏 他1名  
参加児童数：花山小学校6年生 2名

6/16  
Wed



場 所：栗原市志波姫「志波姫小学校」  
講 師：青年部会幹事 渡邊 登 氏 他3名  
参加児童数：志波姫小学校6年生 57名

7/5  
Mon



場 所：栗原市栗駒「栗駒南小学校」  
講 師：青年部会副会長 佐藤 孝 氏 他2名  
参加児童数：栗駒南小学校6年生 24名

7/14  
Wed



場 所：栗原市若柳「若柳小学校」  
講 師：青年部会副会長 堀本教信 氏 青年部会幹事 三塚真太郎 氏 青年部会幹事 佐々木竜也 氏 他5名  
参加児童数：若柳小学校6年生 76名

7/16  
Fri



場 所：栗原市栗駒「栗駒小学校」  
講 師：税制副委員長 鈴木章広 氏 他2名  
参加児童数：栗駒小学校6年生 37名

5月～7月開催の租税教室は、市内小学校9校で行われ、当会青年部会の役員全員で講師を務めました。児童は興味深く真剣な眼差しで授業に集中しているので、その期待に応えようと講師は身の引き締まる思いで挑みました。スライドショーや税金クイズ・アニメーションを使った授業では、税金が自分たちの生活にはなくてはな

らない大切なものだというのをしっかりと理解し、税の使いみちにも興味を持ってくれました。授業終了後はたくさん感謝とお褒めの言葉をいただきましたが、講師を務めた我々も子ども達から教わることが多い「租税教室」でありました。

## ◆お知らせ◆

## 築館税務署定期異動

◇令和3年7月10日付（着任）

署長 **福田 栄作**  
（前 浦和税務署 副署長）

◇令和3年7月9日付（退職）

前署長 **武田 昌**  
（退職）

◇令和3年7月10日付（着任）

総務課長 **星 正志**  
（前 仙台国税局 調査査察部総括主査）

法人課税部門統括官 **阿部 俊博**  
（前 気仙沼税務署 法人課税部門統括官）

◇令和3年7月10日付（転任）

前総務課長 **岩間 靖治**  
（仙台国税局 納税者支援調整官へ）

前法人課税部門統括官 **久光 郁郎**  
（福島税務署 特別国税調査官へ）

